

## ◆理事会からの報告

日本ナレッジ・マネジメント学会 広報・事務局担当理事 矢澤 洋一

7月26日、定例理事会が開かれ、来年の年次大会の開催校が正式に決まるなどの重要な決定がありました。各々の事項の詳細については、今後随時、メルマガ等で会員の皆様にお知らせいたします。

### 「報告事項」

1、森田会長のご葬儀について（花堂理事長）

本メルマガ特集号にて既報のため省略。

2、「SECIモデルによる持続可能性経営（仮称）」研究部会の設立準備の進捗状況（花堂理事長）

上場企業を中心に参加を募っており、現在のところ、有力8社程度の参加が見込まれている。正式な名称を「組織知の形成・持続性研究部会」として、秋にもスタートさせるべく、取り組んでいる。隔月に一回、土曜日の終日を使って部会を開催し、2年間の事業期間を見込んでいる。プロジェクトの取り組みや成果が、本学会の評価に反映されるよう、期待したい。

3、IC10およびNew Club of Paris（花堂理事長）

花堂理事長が、先にパリで開催されたIC10（第10回知的資産カンファレンス）と、知的資本経営で世界的な潮流を作りだしたレイフ・エドビンソン氏らが創設したNew Club of Parisの総会に出席。概要について説明した。

4、2014年12月3日（水）のWICRSと共催の国際シンポジウムおよび、同12月8日（月）のWICRSおよび（株）ICMGとの国際セミナー（花堂理事長）

本学会では、ここ3年ほど、早稲田大学知的資産研究会と共催で知的資産シンポジウム、ワークショップを開催しているが、12月3日及び12月8日も、早稲田大学小野記念講堂の使用許可が取れた。今後、プログラムの中身を詰め、改めて広報してゆくが、例えば「ビッグデータ時代の知識創造」、「統合報告時代の知識経営」など時宜にかなったものにしていきたい。

5、経営関連学会協議会の会員向けアンケート調査（植木理事）

・全国の経営関連の60学会が加盟する経営関連学会協議会は、日本経済新聞社と

協力し 11 月 23 日に大規模シンポジウムを開催するが、それに先立ち、8 月にも学会関係者にアンケート調査を実施する。本学会でもこの調査に協力、シンポジウム開催時には学会員に情報を提供する。

・なお、同協議会の評議員には、植木理事に加え、本学会から石川昭理事が新たに就任する。また、石川昭理事は、本学会の代表として同協議会の理事に加わる。

#### 6、会則改訂の検討委員会の構成員

花堂理事長から、「会則が現状のままでいいのかどうか、森田会長のご逝去もあり、考えることも多い」という趣旨の提案があり、検討委員会を発足させることになった。委員には久米副理事長、田中理事、矢澤理事、森田事務局長が指名され、承認された。久米副理事長を中心に、年内には理事会に改正素案を提出する。委員以外の理事からの幅広い意見を集約する方向で意見が一致した。

#### 7、財政問題の検討態勢（花堂理事長）

今後、プロジェクトを推進していく上での財政的な裏付けを確保するため、花堂理事長を中心に、矢澤理事、森田事務局長が財政問題に取り組む。

#### 8、KM グローバルネットワークの参加について

10 月 1 日～3 日の 3 日間、シンガポールにおいて、アジア各国（香港、シンガポール、オーストラリア、タイなど）の KM 関連学会が参加する「KM グローバルネットワーク」開催される。今後、ネットワークを形成する構想もあり、本学会としては、グローバル化推進の一環としての意義を認め、さらに情報収集の上、前向きに参加を検討することを決めた。

#### 9、その他

植木理事より、学会誌「ナレッジ・マネジメント研究」第 14 号の進行状況について報告があった。

#### 「審議事項」

##### 1、森田会長のご逝去に伴う後任会長の選任について

花堂理事長から、「森田会長のご逝去に伴い、後任会長の選任を進める必要があるが、諸般の事情を考慮すると、直ちに臨時総会を開くまでには至らず、来年の年次大会に会員にご報告する段取りになろう」との問題提起がなされた。具体的な候補は本会会則により、常任理事会が候補者を選定することで了承された。また、同時に副会長 2 名についても検討することで合意した。

#### 2-1、平成27年定例総会の開催校について

平成27年定例総会は、2015年3月21日に開催するが、開催校として専修大学(神田キャンパス)が承認された。大会委員長には、会員の小沢一郎専修大学教授が就任の予定。

#### 2-2、平成28年および29年開催校の依頼方針

本学会の年次大会は、主に東京中心で開催しているが、今後は大阪、名古屋での開催を検討することを検討することになった。

#### 3、平成27年4月1日以降における学会事務局の設置について

日本橋地区の再開発に伴い、年内にも現在の森田会計事務所が移転する予定がある。このため、代替の事務所が必要かどうかを見極めたうえ、必要であれば、新事務所を探すことになった。今後の折衝、その他は花堂理事長に一任することで合意した。

(注) 理事会からのお知らせは、会員への広報のため纏めたものであり、理事会議事録ではありません。

以上です。